



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度

滝川ロータリークラブ

会長 坂本 和繁

- 例会日：毎週木曜 PM12:30より
- 例会場：ホテル三浦華園
- 住 所：滝川市花月町1-2-26
- 電 話：(0125)-22-3344
- F A X：(0125)-24-2755
- メール：info@rotary.gr.jp
- WebSite：www.rotary.gr.jp

第3285回 例会報告 令和4年3月31日 (木)

会長挨拶



日銀が3月29日から無制限指値買いオペを3日間実施すると発表しました。これにより円相場が急落しました。米  
国が利上げに踏み切った中、日本の適正金利は0.25%であると発表したようなものですから当然です。ちなみに米  
国債10年利回りは2.4%程度で推移しております。皆さんご存じでしょうが、買いオペというのは日銀が市中銀行  
から国債を買い入れることで、買いが多くなれば国債の実質価額は上がります。価額が上がるとことは利回  
りが下がるということです。表面利回り1%の国債でも額面100円当たり90円で流通している場合実質利回りは1  
円/90円で1.11%となりますが、これを日銀が98円で買えば1円/98円で実質金利は1.02%となり実質金利は下がります。今回は、この実質  
利回りが0.25%になるような指値をしたということで、米国の利上げにより日本国債が売り込まれて実質金利が上昇しつつある現状を阻  
止したいということなのでしょう。なぜ米国と日本でこのような差があるのか。一言でいえば、内需が堅調で金利の引き上げがインフ  
レ抑制に効き目がある、言い方変えれば需要が旺盛だから金利を引き上げても景気の大きな腰折れはしないと見られているのが米国。  
日本はデフレギャップ状態から抜け出せず健全なインフレギャップによる物価上昇は無理、イコール今後も金利引き上げは無いと見ら  
れているということだと私なりに解釈しています。ドル円相場は米国が金融引き締めを行えば、日銀が何もしない限り日本円が安くな  
るのは当然のことです。しかしながら、エネルギーや食糧さえ何とかなればの前提があればですが、この円安が定着するならも  
う少し円安でも良いのではないかとも思います。定着すれば生産拠点が土地や賃金の安い日本の地方都市に戻ってくる可能性があります。  
若い会員のみなさんは1985年のプラザ合意をリアルに経験してなくても歴史としてご存じかと思いますが、プラザ合意とはニュ  
ーヨークのプラザホテルで開催されたG5で、円高ドル安協調介入が合意された事を指します。合意前のドル円相場は、当時私は農業団  
体の普通のサラリーマンでしたが、85年はちょうど結婚した年で、1ドル240円程度だったと記憶しています。それからたった2年後の  
1987年には1ドル120円まで円高が進み2011年に75円台という超円高を記録しております。プラザ合意はその合意前から動向が注視さ  
れ、合意の時点でも日本に大きな衝撃でした。「日本産業が空洞化する」と言われ、実際数年後には、安い土地と賃金を求めて中国や  
東アジアに日本の工場は出て行ってしまいましたし、米国との競争にさらされていた畜産農家も大勢離農しました。それら乗り越  
のために大規模な金融緩和と財政出動が行われ、これがバブル経済を生み1980年代中盤から数年間、日本は好景気に沸いたわけですが、  
金融緩和は内需拡大より土地や株といった投機に向かい、土地の値上がりにより日本の土地全体の価格が米国の土地全体の価格を上回  
ったというニュースを覚えている方もいらっしゃると思います。そして、ここからが日本の悲劇の始まりであります。中途半端もどう  
かと思しますので次回続きをお話しします。今から思い返せば日本はアメリカを本気で怒らせてしまったのだと思います。

幹事報告



1. 春恒例の「旗の波運動」が4月6日に北  
洋銀行前交差点にて行われます。その  
際、出発式も同日に行われますので午前7  
時45分に市役所庁舎南玄関前までお集ま  
りください。なお、悪天候の場合には中  
止となりますのでご注意ください。
2. 砂川・留萌・芦別RC様より例会プログラムが届いております。
3. 前回の例会でウクライナ支援の募金を頂き、38,000円集まりました。ありがとうございます。
4. 野球同好会から4月11日の例会試合出場者の名簿が公表されて  
おります。後ほどFAXもされます。

委員会報告

親睦委員会：4月14日木曜日、18時より、すし処 やまもとさんに  
て木曜フォーラムを開催いたします。講師は鷲尾会員です。たく  
さんのメンバーのご出席をお願い致します。

＼(^o^)／ニコニコBOX報告 (敬称略)

鈴木忠男・山口恵子・田中元彦・西田浩二・熊谷美由紀  
畠山かおる・高山訓正 <小計26,000円・合計841,000円>

編集/クラブ会報委員会 発行日：令和4年04月05日

前回のプログラム [ 講師卓話 ]  
- 夢に感謝へ。- We'll thanks for dreams- -  
【プログラム委員会担当例会】



NPO法人美唄ブラックダ  
イヤモンズ 副代表  
谷村 明紀 様  
「美唄ブラックダイヤモンズ」の運営に携わっておら  
れる副代表の谷村様をお招  
きし、チーム発足の経緯や  
現在の取り組みなどをお話  
し頂きました。チームに所  
属する若者の移住、地元企  
業での就労、また試合やイ

ベントにおける交流人口の増加など、野球を通じて地域活性化や  
経済振興など、どのように地元を盛り上げるかに重点を置かれた  
運営の方針をお話し頂きました。

出席報告 3月31日

会員数	病欠	免除	出席	欠席	出席率
86名	1名	8名	46名	40名	60%

■ゲスト： NPO法人美唄ブラックダイヤモンズ  
副代表 谷村 明紀 様